ミハイル・ゲルツ（指揮）

Mihhail Gerts, Conductor

　エストニア出身。同地のアカデミーとベルリンのハンス・アイスラー音楽大学で学び、2014年にはD.フリック指揮者コンクールとスヴェトラーノフ指揮者コンクールのファイナリストとなった。

サンタ・チェチーリア国立管、BBC響、フランス放送フィルにデビューし、その「驚くべき緻密さ、表現に富んだ身のこなしや温かみ」から批評家の注目を集めた。シンフォニア・ヴァルソヴィア、ロシア・ナショナル管などと定期的に共演し、エストニア国立響とはヴァイオリンのN.ベネデッティをソリストにドイツ・ツアーを成功させた。N響や大阪フィルにも客演している。

　オペラでは、2015～17年にハーゲン歌劇場のカペルマイスター兼次席音楽総監督、2007～14年にエストニア国立歌劇場の常任指揮者を務め、最近では新演出の《さまよえるオランダ人》を指揮。ほかにもフェニーチェ劇場、ミハイロフスキー劇場などに登場している。サン=テティエンヌ歌劇場ではバンジャマン・ゴダールの《ダンテ》を指揮した。